SHOSHINだより

2008年6月発行
第338号

発行:SHOSHIN本部　〒2520804 藤沢市湘南台1－14－4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com

父母面談Q&A

新年度がスタートして以来、それぞれの学年の父母面談を行ってきましたが、そこには共通したテーマが見られました。以下はこの席で話題になり、特に重要だと思われる問題についてまとめたものです。

中学受験コース

Q…志望校はどのように決めていけばよいのでしょうか。

A…六年間通う学校なので、偏差値や大学合格実績だけでなく、教育方針やお子さんの性格などを重視して選ぶとよいでしょう。

Q…学校の担任の先生との相性や友人関係がうまくいかずなかなか勉強に専念できません。

A…ある程度距離をおいて、関係を希薄にするしかないと思います。塾では自分の目標についてだけ考えて生活してみてはいかがでしょう。塾には、同じ目標、同じ境遇の仲間がいるので、そこで集中するようにするとよいでしょう。（以上、二宮）

Q…記述問題の対策はどのように行えばよいのでしょうか。

A…記述式の問題を克服するためには、著者の中心的な考え方や感じ方を捉え、それをしっかりと理解した上で、自分の意見も付け加えながら書いていくことが大切です。記述問題には、単に書かれている内容を拾ってきて要求された形でまとめるものと、著者の考えを捉えた上で、自分の考えも付け加えながら書いていくものとの二種類あります。前者はそれほど難しくありませんが、後者はなかなか大変です。難関校の問題とはこのようなものです。また、ほんとうの「文章の読み」とはこうして身に付けていくものであって、この勉強は読解力の向上にも役立ちます。（明智）

Q…算数の勉強はどのようにすればよいでしょうか。

A…計算と一行問題を徹底して勉強し、全て合格になるまで何度もやり直すことです。わからない問題は質問室を利用するようにして、夏休み前には過去問をお渡ししますのでそれもやるようにしましょう。（舟本）

小学部SHOSHINコース

Q…どのようにして勉強の習慣を身に付けさせればよいでしょうか。

A…小学部の低学年では、家庭で机に向かう機会をいかに増やしていくかが大切です。それには、宿題プリントの消化や毎回の授業で課される小テストに向けての学習が望ましいでしょう。（吉川）

Q…国語がどうしても苦手です。どうすればよいのでしょうか。

A…とにかく「読書」です。このような生徒の多くは、まだ文章の世界から遠く隔たっています。具体的には、たくさんの文章に触れることが大切です。こうすることによって、次第に言葉の世界にも慣れ、誰でもある程度の読解力を身に付けることができます。受験コースの生徒たちが良い例です。方法としては、毎日十五分ぐらいから初めて、必ず読書の時間を作っていくようにしましょう。その際、自分のレベルより少し程度の高いものを読んでいくことが大切になります。（明智）

Q…計算問題などでケアレスミスを少なくするためにはどうすればよいでしょうか。

A…解くスピードが少し遅くなってもかまいませんから一問一問を慎重に解くようにするとよいでしょう。時間があれば、必ず見直しをする習慣をつけるようにしましょう。

Q…文章問題が苦手です。どうすればよいでしょうか。

A…問題文の意図を正確に読み取る読解力が必要です。文章中の数値でイメージしにくい場合は、簡単な数値に置き換えると考えやすくなります。（以上、増田）

中学部

Q…まだ中一なので部活中心に頑張らせたいと思っています。

A…教室としても部活動は奨励していますが、やはり学生なので勉強を生活の柱として頑張らせなければいけません。今、学習習慣がついていない子どもが大事な時期に急に机に向かえるとは到底考えられません。中一の今から、しっかり勉強癖をつけさせるのがよいでしょう。

Q…内申点がなかなか上がらない。どうしてなのでしょうか。

A…教室では、内申点以外に観点別評価も書いてもらっています。それを分析すると、テストで得点できていても観点別評価の教科の意欲・態度などが「c」や「d」の評価になっていることが多いです。やはり、学校での授業態度・提出物などをしっかりさせることが必要です。

Q…内申点が上がらないので、正直、塾を変えよう思っています。

A…やむを得ない場合もありますが、現状を考えると学習習慣ができていないのが原因です。塾を変えることで問題が解決するとは思えません。教室の指導方針や無料体験を経て塾を選んだからには、そこでしっかりやり通す気持ちが必要だと思います。（以上、二宮）

Q…社会が好きになれません。どうすればよいでしょうか。

A…歴史はマンガでも良いから読んで興味を持たせることが大事です。

Q…高校の専門コースを考えています。どうでしょうか。

A…まだ将来どう考えが変わるかわからないので、出来ることなら普通科を選び、三年間の生活の中で将来のコースを決めても遅くはありません。（以上、舟本）

楽しかった「社会見学」

田貫湖ふれあい自然塾、洞窟の前

国立歴史民族博物館の正面入り口

全統小テストに向けて　～対策授業のすすめ～

３年生、４年生……６月５日（木）
５年生、６年生……６月３日（火）または５日（木）
◎授業時間：１６：５０～１８：４０（５年生～１９：００）

◎参 加 費：無料　　※在室生は授業時間内に実施します。
※参加希望の方はテスト申込時に合わせてお申し込みください。

のびる

「楽しそうな塾ですね。こんな塾なら子どもを入れてみたいと思います。」湘進のホームページを見た知人からこのように言われたことがあります。知人が特にそう思ったのは、湘進には社会見学があることでした。「社会見学やお祭りをやってくれる塾なんて聞いたことがありませんよ。」とは、知人の感想です。もっとも、知人は地方在住ですので、お子さんを湘進に入れてもらうわけにはいきませんでしたが▼湘進でいつから社会見学を始めたのか、はっきりした記録は残っていません。私が記憶している最も古い社会見学は、一九八五年の「つくば万博」です。このときは五十名くらいが参加して、貸し切りバスで出かけました。ですから、湘進の社会見学には少なくとも二十年以上の歴史があります。最近の大がかりな社会見学は三年前、新幹線で出かけた愛知万博でした。このときの参加者は少数でしたが、楽しい経験でした▼今月は二週続けて社会見学に出かけました。一回は六年生をつれて千葉県の国立歴史民俗博物館へ歴史の勉強に、もう一回は三年生から五年生までをつれて静岡県の田貫湖へ洞窟探検に。いずれも参加した生徒たちは大喜びで帰ってくることが出来ました。その感想文が裏面に掲載されていますので、是非お読み下さい。生徒たちにはどうやら、学校や家族での旅行よりも、湘進の社会見学の方が楽しいようです。その理由はよく分かりませんが、あるいは自由があることなのかもしれません。父母面談の場でも、社会見学のお礼を言われることがあります。「子どもがとても喜んでいた」とのお話を伺うと、ホッと安心します▼子どもたちが楽しんでくれ、しかも勉強になる社会見学ならば、今後も機会があれば実施していこうと思っています。ここ数年恒例となりつつある五年生対象の「茶摘み」と、四年生対象の「野辺山宇宙電波研究所見学」は、今年も実施を予定しています▼「いつも小学生だけでずるい。私達もつれてって」と、中学三年生たちが運転手さんに要求しているのだそうです。中学三年生には、以前は社会見学よりももっと大規模なサマーキャンプを実施していました。ところが、最近は誰も希望しなくなったため、立ち消えとなってしまった経緯があります。中学生も希望するのであれば、私としては是非連れて行ってあげたいと思っています▼色々なところに出かけ、さまざまな経験をすることが勉強への興味につながり、意欲がわいてくることを、社会科教師として実感しています。社会見学で生きた勉強ができ、新しい発見をし、勉強への意欲を引き出してくれる生徒がたくさん出てくれることを期待しています。（舟本）

公立中高一貫教育について(下)～理系編～

【指導方針】

公立中高一貫校の適性検査における理系科目の対策を一言で言えば、いかに日常に目を向けるかということになると思います。先行する他都府県の中高一貫校での適性検査問題をみればそれは明かです。

「受験戦争を加熱しない」という名目の適性検査ですが、教科の垣根をなくしたことがかえって内容をつかみにくくさせています。先にお伝えしております通り、適性検査は「表現コミュニケーション力」、「科学・論理的思考力」、「社会生活実践力」に主眼をおいたものとなりますので、公立受験コースの理系クラスでは、後者２つに力点を置いた指導を心掛けています。

【算数の指導】

単純な計算問題や特殊算といった出題はほとんど見られません。代わって、順列・組み合わせ、規則性・約束記号、図形のパズルといった、思考力を必要とする出題がほとんどとなります。しかし、こうした問題を解く上でも、基本的な計算力や公式や解法パターンがどうしても必要となってきます。理系クラスでは、5・6年生として必要な算数の学力を身に付けてもらえるよう、湘進コースで使用している「考える算数」を副教材として使用しています。月例テストなどのカリキュラムに合わせ、単元を厳選して履修を進めています。

メインとなる適性検査対策用のテキストは、他都府県の入試問題を参考に編集されていますので、この演習を進めることで実践力を身に付けてもらいます。単に答えを出すことでなく、どう考えるかが大切ですので、組み合わせの学習では３色の花のカードを、席順を考える問題ではアルファベットのカードを各生徒に配布し、机の上で手を動かしながら問題を解いてもらいました。

【理科の指導】

単に知識を蓄えることだけでなく、実際に目で見たり触れたりすることが大切です。植物の学習では全員にカラーのプリントを配布して、春の野草の名まえ調べをしてもらいました。実際に近所で花を摘んで持ってきてくれた生徒もいました。教室の中で実際に花に触れることができました。また、レンズのはたらきを理解するために、望遠鏡づくりにもチャレンジしました。レンズを通った景色がまるでビデオの映像のようにスクリーンの上に写るのを見て、とても不思議がっていました。また、乾電池と豆電球を使って電流回路についても学びました。「ブラックボックス」を実際につくり、各自で豆電球をつなげたときの明るさの違いから、配線を予想してもらいました。

テキストを使った演習では、与えられたデータをもとに考察する問題が中心となります。また、題材になりやすい環境問題などについても今後学習していく予定です。

［文責：榎原］

☆私立中学個別相談会

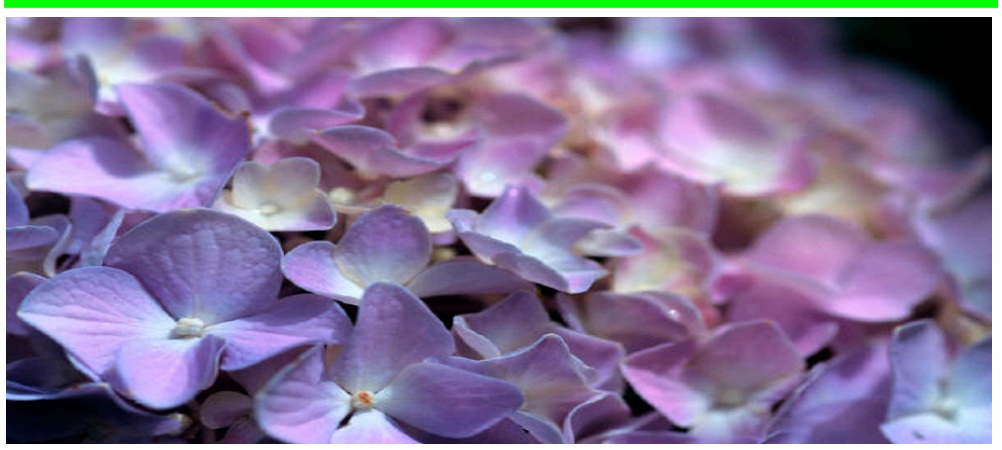
７月６日(日)午前１０時～正午に「私立中学個別相談会」を本部・湘南台スクールで開催します。昨年に引き続き、今年で２回目の開催となりますが、事前に６年中学受験クラスの生徒からアンケートをとり、希望の多い私学に声をかけさせていただきました。当日は、**浅野中学、神奈川学園中学、神奈川大学附属中学・鎌倉学園中学・湘南学園中学・逗子開成中学・清泉女学院中学・日本大学附属藤沢中学・聖園女学院中学**の計九校の先生方にお越しいただくことが決定しています。

今後の予定は、皆様から個別相談の希望を伺い、それをもとにスケジュール調整を行っていくことです。一回の個別相談を１５分と考えておりますので、会を円滑に進めていく上で皆様のご協力が必要になります。どうぞよろしくお願いいたします。

☆親と子の私立中学受験講座第Ⅱ部

７月１９日(土)午後１時～５時３０分に「親と子の私立中学受験講座第Ⅱ部」を本部・湘南台スクールで開催します。４月の第Ⅰ部に引き続き、第Ⅱ部では**近隣の私立中学２０数校分の入試問題を分析**した報告をいたします。６年中学受験コース生は授業の一環として全員参加していただきますので、入試へ向けての準備を進めてもらいたいと思います。

なお、当日の５・６年中学受験コース生の授業は休講となります。



2008年度 夏休み講習会 受付中

私の思い出

五年　%$　%&（%&小学校）

五月十八日、日曜日に田貫湖ふれあい自然塾へ行きました。湘進バスで約二時間三十分ほどで到着しました。自然塾は静岡県富士宮というところにあって、周りは森や山が多く。自然がたくさん残っている場所でした。空気がきれいだったので、おもわず深呼吸してしまいました。

さぁ、いよいよ待ちに待った洞くつ探検に行きます。軍手・帽子・そして懐中電灯を持って洞くつに入りました。洞くつの入口は、私の身長（百三十四センチメートル）より少しちいさかったけれど、奥に行くにつれ、段々大きくなったり小さくなったりしました。ずっと奥に行くと、おじぞうさまがいました。そのおじぞうさまは、「富士山の女の神様だ」と、洞くつを案内をしてくれたちょびひげさんが言っていました。なぜかというと、「怒るとこわいから。」ですって。おじぞうさまの上のくぼみにウサギコウモリという体長四センチメートルの小さなコウモリがいました。図鑑で調べたら、絶滅危惧種と書いてあったので驚きです。

初めて洞くつに入ってみたけれど、実際入ってみたら楽しかったです。今度は家族で行きたいです。

洞くつの出入り口の少し手前にヒキガエルがいました。この洞くつの守り神のようです。

出てきて、田貫湖ふれあい自然塾に着き、とってもきれいな田貫湖を写真に撮りました。お弁当はお母さんが作ってくれたので、とってもおいしかったです。

巨大シーソーでみんなと遊び、塔に登って田貫湖が小さく見えました。

私はこの思い出がとっても心に残っています。田貫湖ふれあい塾にみんなで行かれてよかったです。

おもしろかった歴史博物館

六年　%&　%&（%&小学校）

私は、歴史のことを調べてみたくて、歴史博物館へ行きました。そこではめずらしい物・すごい物・おもしろい物などがありました。

初めに第一展示室を見ました。ここでは、日本列島に人類が登場した旧石器時代から律令国家が成立した奈良時代まで、日本文化の形成過程を見ることができました。

第二展示室では、平安時代から安土桃山時代までの日本の文化と生活を。貴族や武士、庶民といった様々な物が展示されていました。

第三展示室では、江戸時代の人々の生活や文化を大きく四つのコーナーに展示していました。「十八世紀ごろ、日本は国際社会とどのように関係したか。」や「巨大都市江戸の中をのぞくと、どのような生活がみえてくるか。」などがありました。

第四展示室では、都市・農村・山村・漁村そして南島というそれぞれの生活空間における多種な生活様式を、精神的世界も合わせて象徴的に紹介していました。

そして最後の展示室では、明治政府と民間の双方が進めた文明開化や殖産興業・富国強兵を担った製糸と製鉄を採り上げていました。また、関東大震災の恐怖を映像展示し、無声映画を上映しているのを見ました。

私が、歴史博物館に来て感じたことは、今と昔の暮らしのちがいです。今は電気やガスを使っていますが、昔は自然の物を使っていることが具体的にわかってうれしかったです。

後部座席着用が６月から義務化されました。

シートベルト着用　★送迎バスを利用する生徒は、かならず座席のシートベルトを着用してください。

お知らせコーナー

６月　３日（火）・公立受験、４年受験父母面談（～６日）
６月　７日（土）・漢字検定
６月　８日（日）・全国統一小学生テスト
６月１０日（火）・中１父母面談（～１３日）、湘進コース育伸学力テスト（～１３日）
６月１４日（土）・４年受験、５年受験月例テスト・公立受験テスト
６月１５日（日）・英語検定
６月１７日（火）・６年受験父母面談（～１７日）
６月２４日（火）・５年受験父母面談（～２７日）
６月２６日（木）・中学部月例テスト（～２８日）
７月　１日（火）・湘進コース父母面談（～４日）
７月　４日（金）・中３父母会

※今月の中学部月例テストは各中学校の前期中間テスト日程と調整したため変更となっています。